中央大学国際センター主催 2024 年度 春期集中 TOEIC 講座 オンライン【TOEIC 入門コース】 シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷（kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください）までご遠慮なくお尋ねください。

コースの概要・学習量・目的	**TOEIC を受験したことがないか、経験が浅く、受験の心構えや段取り、解答のテクニックを系統立てて学んだことがない方向けの基礎講座です。**TOEIC 頻出の単語を網羅した**ベストセラーの単語帳**と、**500 点を超えることを目標**とした少し難しめの**模試付き公式指南書**を使用することによって、扱う英語は本番同様のレベルを保ちつつ、頻出語句、問題形式、出題内容、スコアアップのコツを、基礎レベルで網羅的に学習し、今後の TOEIC 学習に役立つ基礎知識を持って頂くことを目的としています。地味なコースですが、大学ならではの、少しチャレンジがありつつも、「急がば回れ」の学習を受講生のみなさんと実践します。
使用テキスト （2 冊、約 4,000 円） 	**下記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも毎期講座のテキストとして取り扱いをしていただいています。** ①（単語帳）TEX 加藤著、『TOEIC L＆R TEST 出る単特急 **金のフレーズ**』←**姉妹編『金の熟語』、『金のセンテンス』等があります。お間違えのないよう注意してご購入ください。** https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ②（公式指南書）IIBC & Educational Testing Service、『公式 TOEIC Listening & Reading **650+**』 https://www.iibc-global.org/toeic/support/prep/lr_650plus/pr.html **※『公式 TOEIC Listening & Reading 800+』や『公式 TOEIC Listening & Reading 500+』とお間違えのないようご用意ください。**
コースの目標	① 本番レベルの単語帳（『金のフレーズ』）を使って、TOEIC 受験に必要な語彙を知る ② 公式指南書（『公式 TOEIC Listening & Reading 650+』）を使用して、TOEIC テストの概要と、Test-taking strategies（コツ）を知る ③ 上記②によって、参加者各自が具体的な数値目標を持ち、今後の英語学習のヒントとする ④ 上記③を実現させるための自学自習の方法を知る
コースの目標スコア（目安）	500 点
指導方法	**会議ツール Zoom あるいは Webex、そして manaba を使用した遠隔授業**となります。毎時授業の冒頭で単語帳と manaba を使った選択式の単語テストを行います。その後、公式指南書を講義と演習を交えながら少しずつ読み進めます。状況により、一部宿題にすることもあります。また、開講後、講師の判断や授業の開講方式、クラスの状況によりスケジュールを調整する場合があります。多少の変動に関して、ご理解頂けましたら幸いです。
予習・復習	◇ 予習…次頁のスケジュール表に従って、単語テストの準備をしておいてください。公式指南書『650+』の問題は講師から指示がない限り事前に解く必要はありません（予習に相当するものは極力ないか、少なく、復習を。 ◆ 復習… テキストの語句や英文を暗記するつもりでじっくり読み込みましょう。講義内容も振り返ってください。テキストにある英文を、意味を考えながらゆっくり丁寧に音読するのもお勧めです。
受講生のみなさんへのお願い	・オンラインでの開催となります（**欠席された場合の録画対応はありません。大変申し訳ありませんがご了承ください**）。遠隔開催のため、状況に応じ開講後さまざまな調整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進度などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願いします。 ・会議ツールは音質面で十分でないことがあります。**事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール／ダウンロードしておくと、問題が発生した際に便利です。** ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 注意事項・講座スケジュール

① 注意事項（教科書の使い方・講座スケジュールの見方）

（要予習・単語帳を使った単語テストの実施法と範囲について）TOEIC の単語を網羅します。

講座中毎日毎時限『金のフレーズ』を使用して、授業開始時に単語テストを行います。テストは、manaba 上に設置します。1 範囲につき 10- 15 問の選択式テストです。詳しい単語テストの使い方（解答のタイミング、時間等）は講師が指示しますが、1 テスト 3-5 分で解けると理想的です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。この TOEIC 入門コースでは、全範囲をテストします。下表「② 講座スケジュール」→「★ 単語テストのスケジュール」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。下表に従って、単語テストの準備をしておいてください。短時間にかなりの量をさらうことになります。完璧に覚えることを目指すというよりは、TOEIC のテスト範囲を知るというイメージで準備するといいと思います。

（予習不要・公式指南書を使った問題形式の学習と問題演習について）TOEIC の大問（Part） 1-7 のうち、1, 2, 3, 5, 6, 7(SP)に注力します。

公式指南書は各パートの出題傾向の解説（Section 1）と演習問題（Section 2：合計 262 問、そのうち 140 問が特に重要な問題）に加え、と本番形式の模試 1 回分（Section 3）から成ります。続く「② 講座スケジュール」→「公式指南書のスケジュール」には、時限・扱う章や問題を記してあります。下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ（Single Passage)」を、「Part 7 (MP)」とは、176 番-200 番のダブル・パッセージとトリプル・パッセージを合わせた「マルチプル・パッセージ（Multiple Passage)」を意味します。**問題集は授業中に解き、講師が解説を行いますので、原則として事前に解いてくる必要はありませんが、公式指南書の問題数は大変多いため、Section 2 と 3 の問題については、特に入門コースの受講生のみなさんと学習したい Part 1-3 と Part 5-6 と Part 7 の前半（SP）に極力多くの時間を割くことを目的として、Part 4 や Part 7 の後半の問題（MP）等の難問は割愛する・演習だけに留める・一部のみ取り上げる・事前に解いて頂く などの扱いになることがあります。**授業で取り扱わなかった問題は、講座後のさらなるレベルアップを目指して自習課題としてお使いください。また、授業の進行状況により、進度がシラバスの計画と前後してしまうことがあります。お許し頂けましたら幸いです。

② 講座スケジュール…単語テスト、模試問題集、講義のポイントに分けてスケジュールを作成してあります。時間割は 1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	1-200	**2 限（2）**	201-400	**3 限（3）**	401-500
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	501-600	**2 限（5）**	601-700	**3 限（6）**	701-800
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	801-900	**2 限（8）**	901-1000	**3 限（9）**	Supplement 1
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	Supplement 2	**2 限（11）**	Supplement 3	**3 限（12）**	Supplement 4
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	Supplement 5	**2 限（14・了）**	なし		

★ 公式指南書のスケジュール‥時間やクラスの状況等により、一部のみ演習・割愛等の可能性が高い問題に灰色に着色の上、取り消し線を引いてあります（記入例→ ~~92-118~~）。割愛等によってできた時間は、他の比較的解きやすい種類の問題や、これから TOEIC に取り組む受講生のみなさんがまずは取り組むべき問題の演習・質疑応答等に充てます。

授業日			時限・回	教科書の章	扱う大問・問題番号	時限・回	教科書の章	扱う大問・問題番号	時限・回	教科書の章	扱う大問・問題番号
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	出題の傾向 必答 140 問	Part 1〜Part 2 1-46	**2 限（2）**	出題の傾向 必答 140 問	Part 3 47-82	**3 限（3）**	出題の傾向 必答 140 問	Part 3〜~~Part 4~~ 83-91, ~~92-118~~
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	出題の傾向 必答 140 問	~~Part 4~~〜Part 5 ~~119-136~~, 137-176	**2 限（5）**	出題の傾向 必答 140 問	Part 6 177-212	**3 限（6）**	出題の傾向 必答 140 問	Part 7 (SP) 213-232
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	出題の傾向 必答 140 問	~~Part 7 (MP)~~ ~~233-262~~	**2 限（8）**	本番形式テスト	Part 1 & 2 1-31	**3 限（9）**	本番形式テスト	Part 3 32-70
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	本番形式テスト	~~Part 4~~ ~~71-100~~	**2 限（11）**	本番形式テスト	Part 5 101-130	**3 限（12）**	本番形式テスト	Part 6 131-146
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	本番形式テスト	Part 7 (SP) 147-175	**2 限（14・了）**	本番形式テスト	~~Part 7 (MP)~~ ~~176-200~~			

● （参考）講座後に

授業では問題を 1 回しか解くことができませんが、良質の問題、特に模擬試験は 3 回繰り返して解くとよい（「3 回法」などと呼ばれています）と言われています。「模試は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします）：

1 回目･･･講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
2 回目･･･少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）
3 回目･･･さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

★ ここまでシラバスをご覧頂きありがとうございます。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、3/9（日）正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師から指示がありますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲で調整をお願いいたします。また、開講前までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は通常の授業時間帯と異なり、1 限 10:00〜11:40、2 限 12:30〜14:10、3 限 14:20〜16:00 です。

中央大学国際センター主催 2024 年度 春期集中 TOEIC 講座 オンライン【文法強化コース】 シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷（kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください）までご遠慮なくお尋ねください。

コースの概要・学習量・目的	**国際センター主催の TOEIC 講座における定番**講座です。次の 1)～5)が気になる方に向くコースです： 1) **文法**学習に興味がある 2) **TOEIC テストを網羅的**に学習したい 3) 何度か受験しているが、**スコアが停滞**している 4) **リスニングの後半で正答率が下がる** 5) リスニングに比べて**リーディングのスコアが目立って低い** 授業では、TOEIC 単語帳のベストセラー『**金のフレーズ**』、Part 5 と 6 の問題形式で TOEIC に出題される文法や語彙を学ぶ問題集『**精選模試【文法・語彙問題】**』、に加え、解き方のコツが詳しくわかる模試問題集『**奪取の模試**』の合計 3 冊のテキストを使って TOEIC テストに頻出の語句、文法事項、問題形式を学習します。この過程で受講者のみなさんの弱点を発見・解決し、近い将来のハイスコア獲得への足がかりをつかむことを目的としたコースです。網羅的に TOEIC 対策を行いますが、このクラスでは、**文法学習を重視**します。学習量はかなりのものになりますが、それによって**受講生のみなさんに自信を持って頂く**こともこのコースの重要な目的の 1 つです。
使用テキスト （3 冊合計約 5,000 円） **コピーの用意はありません。時間に余裕を持ってご用意ください。**	**下記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも毎期講座のテキストとして取り扱いをしていただいています。** ① （単語帳）TEX 加藤著、『TOEIC L＆R TEST 出る単特急 金のフレーズ』←**『金のセンテンス』『銀のフレーズ』等の姉妹編があります。お間違えのないよう注意してご購入ください。** https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② （文法・語彙問題集）中村紳一郎他著、『TOEIC L&R テスト精選模試【文法・語彙問題】』 https://bookclub.japantimes.co.jp/book/b636148.html ③ （模試問題集）濱崎潤之輔著、『TOEIC L&R テスト 目標スコア奪取の模試』 https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094919
コースの目標	① TOEIC テスト向けの単語力を強化する ② スコア停滞の原因、またはリスニング・リーディングの伸び悩みの大きな原因である文法知識の不足を補う ③ TOEIC テストの形式を知り、スコアアップのコツ（ストラテジー）を知る ④ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する ⑤ 上記④を実現させるための総合的な学習法を知る
コースの目標スコア（目安）	600 点
指導方法	**会議ツール Webex または Zoom、そして manaba を使用した遠隔授業**となります。各回授業の冒頭で選択式の単語テストを行います。その後、文法問題集と模試問題集をバランス良く学習します。授業の進度や当日扱うパート・問題の難易度により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌日に回したり、宿題となることがあります。**この講座は学習内容が多岐にわたるため、学習プランの多少の変動に関してご理解頂けましたら幸いです。**
予習・復習	◇ 予習…単語テストの準備のみ（詳細は次頁を参照）。文法問題集と模試問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…文法問題集と模試問題集の問題を解き直すといいと思います。少し記憶が薄れたころ、このシラバスと同じペースで解きなおしたり、あるいは講座後に模試のように一気に解くのもお勧めです。時間がない時は、間違えた問題の英文を意味を考えながらゆっくり丁寧に音読するのもお勧めです。また、文法問題集は講座では全て扱えないため、授業で扱わなかった問題を計時して解くのも良いでしょう。
受講生のみなさんへのお願い	・Zoom または Webex、manaba 等を活用したオンライン開催となります（いかなる理由でも、**欠席された場合の録画対応はありません。申し訳ありませんがご了承ください。学生のみなさんのカメラやマイクの on/off の決定は、授業の性質や教育効果を検討した上で担当講師が判断し、開講直前にアナウンスします**）。遠隔開催のため、開講後さまざまな調整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進度などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いします。 ・Webex や Zoom 等は音質面で十分でないことがあります。**事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール／ダウンロードしておくと、問題が発生した際に便利です。** ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 教科書の使い方・講座スケジュール

① 教科書の使い方と講座スケジュールの見方をご説明します

（単語テストの実施法と範囲について）単語帳、『金のフレーズ』は要予習です。下記「② **講座スケジュール**」の「**★単語テスト（金フレ）のスケジュール**」**に従って、単語テストの準備をしておいてください。**毎日各時限の開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。テストは、1 範囲につき 10 問～15 問の選択式で、テストは、manaba 上に設置します。解答時間等は講師が指示しますが、3-5 分の予定です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。この文法強化コースでは、全範囲をテストします。下表「**★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール**」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。短時間にかなりの量をさらうことになります。完璧に覚えることを目指すというよりは、TOEIC のテスト範囲を知るというイメージで準備するといいと思います。

（文法問題集『精選模試【文法・語彙問題】』について）予習不要です。授業で問題を計時して解きます。このコースの主なコンテンツである『精選模試【文法・語彙問題】』は、2 つの Chapter から成る TOEIC テストの Part 5 と 6 に対応した問題集ですが、本講座では Chapter 1（「Part 6 の攻略法＋トレーニング」を除く）のみを扱います。Chapter 1 は文法事項別に 9 つのセクション（タイプ）に分かれており、TOEIC テストを受験する際に重要な文法事項が 9 つの観点から学習できるようになっています。Chapter 2 は Part 5 と 6 の模試になっており、講師の判断により一部授業中に取り上げる場合もありますが、講座後の復習教材としてお使いいただくことを想定しています。また、Chapter 1 で割愛する「Part 6 の攻略法＋トレーニング」は、『奪取の模試』を使って同じことを学習します。続く「② 講座スケジュール」の「**★ 文法問題集『精選模試【文法・語彙問題】』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール**」と「**★ 『精選模試【文法・語彙問題】』と『奪取の模試』各講義のポイント**」に、毎回の授業で取り扱う章や学習ポイント、問題番号等を書いておきました。少々複雑ですが、1 度授業に参加すると授業の流れをつかんで頂けるかと思います。

（模試問題集について）予習不要です。授業で問題を計時して解きます。模試問題集には模試 1 回分が収録されていますが、今回の講座では、これを少しずつ扱い、TOEIC テストの全体像を把握することを目的として学習します。各日の学習範囲については、続く「② 講座スケジュール」の「**★ 文法問題集『精選模試【文法・語彙問題】』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール**」と「**★ 『精選模試【文法・語彙問題】』と『奪取の模試』各講義のポイント**」をご覧ください。

② 講座スケジュール‥単語テスト、精選模試【文法・語彙問題】& 模試問題集、講義のポイント に分けてスケジュールを作成してあります。

★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第 1 日	**3/10**	月	**1 限（1）**	1-200	**2 限（2）**	201-400	**3 限(3)**	401-500
第 2 日	**3/11**	火	**1 限（4）**	501-600	**2 限（5）**	601-700	**3 限(6)**	701-800
第 3 日	**3/12**	水	**1 限（7）**	801-900	**2 限（8）**	901-1000	**3 限(9)**	Supplement 1
第 4 日	**3/13**	木	**1 限（10）**	Supplement 2	**2 限（11）**	Supplement 3	**3 限(12)**	Supplement 4
第 5 日	**3/14**	金	**1 限（13）**	Supplement 5（了）	**2 限（14・了）**	なし		

★ 文法問題集『精選模試【文法・語彙問題】』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール･･･複雑で申し訳ありません！この講座は 1 日 3 時間が 4 日間、最終日のみ 2 時間で、合計 14 時間あります。この 14 時間で、講座の主なテキスト『精選模試【文法・語彙問題】』と奪取の模試（下表では、「奪取」と表記します）を学習します。それぞれの問題集には、7 時間ずつ振り分けています。講座の前半は、1,2 時限を精選模試の学習に、3 限を模試問題集の学習に充てています。表を色分けしてみました。講座の後半、第 4 日目からは模試問題集の学習量を増やし、仕上げの学習に入ります。授業の状況にこのスケジュールが合わない場合、担当講師の判断で進度や 1 日の授業デザインを変更することがあります。その場合は講師の指示に従ってください。

授業日			時限・授業回	使用テキストの回数	内容	時限・授業回	使用テキストの回数	内容	時限・授業回	使用テキストの回数	内容
第 1 日	3/10	月	**1 限（1）**	精選模試 1 回目	タイプ 1	**2 限（2）**	精選模試 2 回目	タイプ 1 & 2	**3 限（3）**	奪取 1 回目	Part 1 & 2
第 2 日	3/11	火	**1 限（4）**	精選模試 3 回目	タイプ 3	**2 限（5）**	精選模試 4 回目	タイプ 4	**3 限（6）**	奪取 2 回目	Part 3
第 3 日	3/12	水	**1 限（7）**	精選模試 5 回目	タイプ 5	**2 限（8）**	精選模試 6 回目	タイプ 6-8	**3 限（9）**	奪取 3 回目	Part 4
第 4 日	3/13	木	**1 限（10）**	精選模試 7 回目	タイプ 9	**2 限（11）**	奪取 4 回目	Part 5	**3 限（12）**	奪取 5 回目	Part 6
第 5 日	3/14	金	**1 限（13）**	奪取 6 回目	Part 7 (1) SP	**2 限（14・了）**	奪取 7 回目	Part 7 (2) MP			

※ また、『精選模試』と『奪取の模試』で扱う詳しい問題番号、問題数などは、さらに下表「**★ 『精選模試』と『奪取の模試』各講義のポイント**」もご覧ください。

★ 『精選模試【文法・語彙問題】』と『奪取の模試』各講義のポイント･･･『精選模試【文法・語彙問題】』と『奪取の模試』には講座の 14 時間を半分に割って、7 時間ずつを各テキストの学習に充当しています。この表では、上記「**★ 文法問題集『精選模試【文法・語彙問題】』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール**」に書き切れなかった、授業で扱う問題番号や講義のポイントを、**日にち／時限ではなく、各テキストに振り分ける授業回（1～7 回）毎に記します。**

授業回	**文法問題集：精選模試 範囲・備考**			**模試問題集**：扱うパート・問題番号等		講義内容等
1 回目	**タイプ 1 品詞問題**	1-60 (60 問)	空所補充問題において比較的難易度が低く出現頻度が高いものから学習を開始します。問題数が多いので 2 回目にも扱う可能性があります。	**① Part 1 ② Part 2**	1-6 7-31 (31 問)	・講座に慣れる ・リスニングパート全般について ・Part 1 & 2 のコツ
2 回目	**タイプ 1（続き） と タイプ 2 動詞問題**	タイプ 1 の続き と 1-30 (30 問＋α)	動詞問題は Part 5 や 6 だけでなく、英文理解に重要なポイントです。	**Part 3**	32-70 (39 問)	・Part 3 のコツ
3 回目	**タイプ 3 前置詞 vs. 接続詞問題**	1-30 (30 問)	金のフレーズの Supplement 3 とリンクしながら学習しましょう。	**Part 4**	71-100 (30 問)	・Part 4 のコツ（Part 3 と同じです） ・リスニング問題全体の振り返り
4 回目	**タイプ 4 前置詞問題**	1-30 (30 問)	語彙問題の部類に入りますが、比較的取り組みやすいです。	**Part 5**	101-130 (合計 30 問)	・リーディングパート全体について ・Part 5 のコツ
5 回目	**タイプ 5 代名詞問題**	1-30 (30 問)	TOEIC の空所補充問題の中では、Part 5 と 6 にまたがって出現する重要な項目です。	**Part 6**	147-175 (16 問)	・Part 6 のコツ

6 回目	**タイプ 6-8** **関係詞、比較・数、** **構文・語法問題**	1-15 1-15 1-15 (45 問)	学習事項が多いので、7 回目にも学習を継続する場合があります。	**Part 7 (1)**	176-185 (29 問)	・Part 7 のコツ（1） （全般的なコツ＆シングルパッセージのコツ）
7 回目	**タイプ 9** **語彙問題**	1-60 (60 問)	語彙問題は解説以上に受講者のみなさんの語彙を拡大することが大切（だからこそ難易度が高いです）なので、解説は簡単に、問題を沢山解くことを意識したいと思います。	**Part 7 (2)**	186-200 (25 問)	・Part 7 のコツ（2） （マルチプルパッセージのコツ） ・今後の学習について

★ 複雑なシラバスをご覧頂きありがとうございます（お疲れ様でした！）。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、3/9（日）正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師から指示がありますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。また、開講前までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は通常の授業時間割と異なり、1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

● （参考）講座後に･･･模試本の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい（「3 回法」などと呼ばれています）と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします）：

1 回目･･･講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
2 回目･･･少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）
3 回目･･･さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

以上です。

中央大学国際センター主催 2024 年度 春期集中 TOEIC 講座 オンライン【模試演習コース】 シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷（kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください）までご遠慮なくお尋ねください。

コースの概要・学習量・目的	**2-3 回程度の受験経験があるか、あるいは現在 500 点～600 点前後のスコアを持っている方で、実戦形式の学習をしたいとお考えの方、あるいはそれより経験もスコアももう少し高いが、丁寧に模試を学習したいとお考えの方**に向くコースです。単語帳の定番『**金のフレーズ**』で TOEIC テスト頻出語を学びつつ、公式問題集の中でも、現行の TOEIC テストと非常に出題傾向が近いと思われる**公式問題集 11** をメインのテキストとして使用し、TOEIC テスト全範囲を本番と同じレベルの問題で学習する中級～上級レベルのコースです。2 模試の演習を通して、TOEIC のスコアアップのコツや出題パターン、自習法などを幅広く学習します。短期間に、次の 3 点　1)TOEIC テストの語彙 2)スコアアップのコツ 3)本番レベルの模試演習 をカバーすることで、多くの大学生が研究室の選考や就職活動は視野に入った時に目標とする **730 点へのステップアップを目**指します。
使用テキスト （2 冊、約 4000 円） 	**↓同著者による姉妹編、シリーズものがあるため、買い間違えやすいです。ご注意ください。『金のセンテンス』『金の文法』『金の熟語』『銀のフレーズ』ではなく、『金のフレーズ』です。** ① TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 **↓2024 年 11 月の時点で公式問題集は複数巻（1～11 巻）刊行されていますが、本講座では最新刊「11」を使用します。** ②（問題集）IIBC & Educational Testing Service、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 11』 https://www.iibc-global.org/toeic/support/prep/lr_ud_11/pr.html **上記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも毎期講座のテキストとして取り扱いをしていただいています。**
コースの目標	① TOEIC に出る単語全体を知る ② TOEIC テストの Test-taking strategies（スコアアップのコツ）を知る ③ 質・量ともに本番と同レベルの問題を丁寧に解くことで経験を積み、2 時間のテストに耐える英語の体力をつける ④ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する
コースの目標スコア（目安）	730 点
指導方法	**会議ツール Zoom または Webex、そして manaba を使用した遠隔授業**となります（**欠席された場合の録画対応はありません。また、学生のみなさんのカメラやマイクの on/off の決定は、授業の性質や教育効果を検討した上で、担当講師が判断し、開講直前にアナウンスします**）。授業は単語テスト・講師による test-taking strategies（解答のコツ）の講義・問題演習と振り返りを交えて進めます。各回授業の冒頭で manaba を使用して選択式の単語テストを行い、その後公式問題集をリスニング・リーディングのバランスを取りながら学習します。開講後、講師の判断でスケジュールを調整する場合があります。
予習・復習	◇ 予習…単語テストの準備のみ（詳細は次頁を参照）。公式問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…少し時間をおいて（記憶がやや薄れた頃）、学習事項の理解度・定着度をチェックするために、問題集の問題を解き直してみましょう。
受講生のみなさんへのお願い	・オンラインでの開催となります（**いかなる理由でも欠席された場合の録画対応はありません。大変申し訳ありませんが、ご了承ください**）。遠隔開催のため、状況に応じ開講後さまざまな調整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進度などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願いします。 ・会議ツールは音質面で十分でないことがあります。**事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール／ダウンロードしておくと、問題が発生した際に便利です。** ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 注意事項・講座スケジュール

① 注意事項（教科書の使い方・講座スケジュールの見方）

（**要予習・単語テストの実施法と範囲について**）講座中ほぼ毎時限『金のフレーズ』を使用して、授業開始時に単語テストを行います。テストは、manaba 上に設置します。1 範囲につき 10 問～15 問程度の選択式です。詳しい単語テストの使い方（解答のタイミング、時間等）は講師が指示しますが、1 テスト 3-5 分で解けると理想的です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。この模試演習コースでは、全範囲をテストします。下表「② 講座スケジュール」→「★ 単語テストのスケジュール」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。下表に従って、単語テストの準備をしておいてください。短時間にかなりの量をさらうことになります。完璧に覚えることを目指すというよりは、TOEIC のテスト範囲を知るというイメージで準備するといいと思います。

（**予習不要・公式問題集について**）公式問題集には模試 2 回分（Test 1 と 2）が収録されていますが、今回の講座では、2 模試全てを終えることを目指します。下表「② 講座スケジュール」→「公式問題集のスケジュール」には、時限・扱うテスト番号とパートを、さらに「各日の講義のポイント」で公式問題集に伴う講義のポイントが記してあります。授業のペースは 2.5 日で 1 模試程度です。また、扱うパートの表記に関して補足します。下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ（Single Passage)」を、「Part 7 (MP)」とは、176 番-200 番のダブル・パッセージとトリプル・パッセージを合わせた「マルチプル・パッセージ（Multiple Passage)」を意味します。問題集は授業中に計時して解き、講師が解説を行いますので、事前に解いておく必要はありません。なお、クラスの状況に応じて、担当講師の判断で 1）一部の問題を宿題にする・解説を省く、2) 1 限の授業に 2 限の内容を前倒しにする、2 限の授業の内容の一部を翌日の 1 限に行う などの調整を加えることがあります。ご了承ください。

② 講座スケジュール…単語テスト、模試問題集、講義のポイントに分けてスケジュールを作成してあります。時間割は 1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	1-200	**2 限（2）**	201-400	**3 限（3）**	401-500
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	501-600	**2 限（5）**	601-700	**3 限（6）**	701-800
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	801-900	**2 限（8）**	901-1000	**3 限（9）**	Supplement 1
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	Supplement 2	**2 限（11）**	Supplement 3	**3 限（12）**	Supplement 4
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	Supplement 5（了）	**2 限（14・了）**	なし		

★ 公式問題集のスケジュール

授業日			時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	Test 1	Part 1	**2 限（2）**	Test 1	Part 2	**3 限（3）**	Test 1	Part 3
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	Test 1	Part 4	**2 限（5）**	Test 1	Part 5 & 6	**3 限（6）**	Test 1	Part 7 (SP)
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	Test 1	Part 7（MP）	**2 限（8）**	Test 2	Part 1 & 2	**3 限（9）**	Test 2	Part 3
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	Test 2	Part 4	**2 限（11）**	Test 2	Part 5 & 6	**3 限（12）**	Test 2	Part 7 (SP)
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	Test 2	Part 7 (MP)	**2 限（14・了）**	予備時間	予備時間			

★ 各日の講義のポイント

授業日			時限・回	ポイント	時限・回	ポイント	時限・回	
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	・オリエンテーション ・TOEIC の概要 ・Part 1 の Strategy	**2 限（2）**	Part 2 の Strategy	**3 限（3）**	Part 3 の Strategy
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	Part 4 の Strategy	**2 限（5）**	Part 5 と 6 の Strategy	**3 限（6）**	Part 7 の Strategy (SP)
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	・Part 7 の Strategy (MP) ・TOEIC 全パート振り返り	**2 限（8）**	※ここから最終時限まで演習中心となります。	**3 限（9）**	
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**		**2 限（11）**		**3 限（12）**	
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**		**2 限（14・了）**			

● （参考）講座後に･･･模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい（「3 回法」などと呼ばれています）と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします）：

1 回目･･･講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
2 回目･･･少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）
3 回目･･･さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

★ ここまでシラバスをご覧頂きありがとうございます。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、3/9（日）正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師からご案内しますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。また、開講までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は通常の授業時間割と異なり、1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

以上です。

中央大学国際センター主催 2024 年度 春期集中 TOEIC 講座 オンライン【ハイレベルコース】 シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷（kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください）までご遠慮なくお尋ねください。

コースの概要・学習量・目的	既に大学生としては高いスコア（650 点～）を持っているけれども、**スコアの停滞を感じている方**や、海外滞在経験、あるいは学部の授業で上のクラスに所属した経験などで、**英語の腕に覚えはあるけれども、TOEIC 対策をしたことがなく、対策によってもっと点数が伸びるのではないかとお考えの方、大学院入試や就職活動に関連してインパクトのあるハイスコアの取得を目指している方**を主な受講者として想定した、**TOEIC テストの Test-taking strategies と頻出語を改めて学び、また公開テストより難しめの問題をコースメイト・TOEIC おたくの中大卒業生（担当講師）とともに、気楽なオンライン勉強会形式で解くことによって、スコアアップを目指すハイレベルコース**です。
使用テキスト （2 冊、約 4000 円） 	**↓下記 2 冊の教科書共に、同著者による姉妹編、シリーズものがあるため、買い間違えやすいです。ご注意ください。** **①（単語帳）TEX 加藤著『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』** https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 **↓タイトルに「990 点」、「満点」とありますが、あまり心配しなくとも大丈夫です。わからないので勉強するから少し難しいくらいでちょうど良いんだ、くらいにお考え頂ければと思います。** **②（問題集）メディアビーコン著『TOEIC L&R Test 990 点獲得 全パート難問模試』** https://www.beret.co.jp/book/47377 **※ 上記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも毎期講座のテキストとして取り扱いをしていただいています。**
コースの目標	① TOEIC に出る**単語**を高いレベルで知る ② TOEIC テストの **Test-taking strategies（スコアアップのコツ）**を知り、受講者各自の苦手な分野に**自律的に応用**できるようになる ③ 質・量ともに本番以上の問題を解くことで**経験**を積み、2 時間のテストに耐える英語の**体力**と試験に向けた**度胸**またはそのきっかけを得る ④ 講座中、または受講者各自の目標期限内に各自の**目標スコアを獲得**する
コースの目標スコア（目安）	860 点～
指導方法	会議ツール **Zoom と manaba を使用した遠隔授業**となります（**欠席された場合の録画対応はありませんのでご了承ください。また、学生のみなさんのカメラやマイクは、随時受講者のご意見を伺いつつ、気楽に参加していただきたいという理由から、原則的に off として授業を行います。on にする場合は、必ず事前に予告します**）。授業は manaba を活用した単語テスト・Zoom を活用した講師による test-taking strategies（解答のコツ）の講義・問題演習と振り返りを交えて進めます。各回授業の冒頭で manaba を使用して選択式の単語テストを行い、その後模試問題集をリスニング・リーディングのバランスを取りながら学習します。開講後、講師の判断でスケジュールを調整する場合があります。ご理解頂けましたら幸いです。
予習・復習	◇ 予習…単語テストの準備のみ（詳細は次頁を参照）。模試問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…少し時間をおいて（記憶がやや薄れた頃）、学習事項の理解度・定着度をチェックするために、問題集の問題を解き直してみましょう。
受講生のみなさんへのお願い	**・オンラインでの開催となります（いかなる理由でも欠席された場合の録画対応はありませんのでご了承ください）**。遠隔開催のため、状況に応じ開講後さまざまな調整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進度などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたしします。 ・会議ツールは音質面で十分でないことがあります。事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール／ダウンロードしておくと、問題が発生した際に便利です。 ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 注意事項・講座スケジュール

① 注意事項（教科書の使い方・講座スケジュールの見方）

（**要予習・単語テストの実施法と範囲について**）講座中毎日毎時限『金のフレーズ』を使用して、授業開始時に単語テストを行います。テストは、manaba 上に設置します。1 範囲につき 10 問～15 問程度の選択式です。スペリングを覚える必要はありません。詳しい単語テストの使い方（解答のタイミング、時間等）は初日に講師が指示しますが、1 テスト 2-3 分で解けると理想的です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。このハイレベルコースでは、全範囲をテストします。下表「② 講座スケジュール」→「★ 単語テストのスケジュール」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。下表に従って、単語テストの準備をしておいてください。TOEIC テストの単語の全範囲を見渡すことを目指して、短時間にかなりの量をさらうことになります。

（**予習不要・公式問題集について**）模試問題集には模試 2 回分（Test 1 と 2）が収録されていますが、今回の講座では、2 模試全てを終えることを目指します。下表「② 講座スケジュール」→「公式問題集のスケジュール」には、時限・扱うテスト番号とパートを、さらに「各日の講義のポイント」で公式問題集に伴う講義のポイントが記してあります。授業のペースは 2.5 日で 1 模試程度です。また、扱うパートの表記に関して補足します。下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ（Single Passage)」を、「Part 7 (MP)」とは、176 番-200 番のダブル・パッセージとトリプル・パッセージを合わせた「マルチプル・パッセージ（Multiple Passage)」を意味します。問題集は授業中に計時して解き、講師が解説を行いますので、事前に解いてくる必要はありません。なお、クラスの状況に応じて、担当講師の判断で 1）一部の問題を宿題にする・解説を省く、2) 1 限の授業に 2 限の内容を前倒しにする、2 限の授業の内容の一部を翌日の 1 限に行う などの調整を加えることがあります。ご了承ください。

② 講座スケジュール…単語テスト、模試問題集、講義のポイントに分けてスケジュールを作成してあります。時間割は 1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	1-200	**2 限（2）**	201-400	**3 限（3）**	401-500
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	501-600	**2 限（5）**	601-700	**3 限（6）**	701-800
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	801-900	**2 限（8）**	901-1000	**3 限（9）**	Supplement 1
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	Supplement 2	**2 限（11）**	Supplement 3	**3 限（12）**	Supplement 4
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	Supplement 5（了）	**2 限（14・了）**	なし		

★ 模試問題集のスケジュール

授業日			時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	Test 1	Part 1 & 2	**2 限（2）**	Test 1	Part 2 & 3 (1)	**3 限（3）**	Test 1	Part 3 (2)
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	Test 1	Part 4	**2 限（5）**	Test 1	Part 5 & 6	**3 限（6）**	Test 1	Part 6 & 7 (SP)
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	Test 1	Part 7（SP)	**2 限（8）**	Test 1	Part 7 (MP)	**3 限（9）**	Test 2	Part 1 & 2
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**	Test 2	Part 3	**2 限（11）**	Test 2	Part 4	**3 限（12）**	Test 2	Part 5 & 6
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**	Test 2	Part 7 (SP)	**2 限（14・了）**	Test 2	Part 7 (MP)			

★ 各日の講義のポイント

授業日			時限・回	ポイント	時限・回	ポイント	時限・回	
第 1 日	**3/10**	**月**	**1 限（1）**	・オリエンテーション ・Part 1 と 2 の Strategy	**2 限（2）**	Part 3 の Strategy (1)	**3 限（3）**	Part 3 の Strategy (2)
第 2 日	**3/11**	**火**	**1 限（4）**	・リスニングまとめ ・Part 4 の Strategy	**2 限（5）**	Part 5 と 6 の Strategy	**3 限（6）**	Part 7 の Strategy (SP) (1)
第 3 日	**3/12**	**水**	**1 限（7）**	Part 7 の Strategy (SP) (2)	**2 限（8）**	Part 7 の Strategy (MP)	**3 限（9）**	※ここから最終時限まで演習中心となります。
第 4 日	**3/13**	**木**	**1 限（10）**		**2 限（11）**		**3 限（12）**	
第 5 日	**3/14**	**金**	**1 限（13）**		**2 限（14・了）**			

● （参考）講座後に･･･模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい（「3 回法」などと呼ばれています）と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします）：

1 回目･･･講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
2 回目･･･少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（復習効果を狙う）
3 回目･･･さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）

★ ここまでシラバスをご覧頂きありがとうございます。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、3/9（日）正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師からご連絡いたしますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。また、開講までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は通常の授業時間割と異なり、1 限 10:00～11:40、2 限 12:30～14:10、3 限 14:20～16:00 です。

以上です。